

# てこな・ミュージーズ・ジャーナル

## 新たな試み—もっとアートを身近なものに

今年、当財団が力を入れていることの一つに、市民の皆さんが気軽にアートを楽しむための“きっかけづくり”があります。今回はその実践についてご紹介してみましょ。

### 〈2つの展覧会〉

今年は、皆さんの身近にいるアーティスト達に焦点を当てた2つの展覧会を実施しました。春に芳澤ガーデンギャラリーで開催した「市川こどもアートフェスティバル2011」では、市川市・東京都・世界の子ども達の作品を展示。工作コーナーも設け、休日にはたくさん親子連れで賑わいました。夏に木内ギャラリーで開催した「もうひとつの素朴」展では、障がいのある方々と子どものアートを紹介しました。「描きたい」「作りたい」という素朴な情熱で創り上げた作品の素晴らしさに驚かれた方も多しと思ひます。



「市川こどもアートフェスティバル2011」



「もうひとつの素朴」展

### 〈子ども向けワークショップ〉

また、創作活動からアートにふれる体験も行っています。これまでも企画展ごとに各種のワークショップを開催してきましたが、今年は美術教育界では知らない人のいない3人の先生方を講師にお招きしました。鈴石弘之先生（NPO法人市民の芸術活動推進委員会理事長）、内野務先生（品川区立第三日野小学校教諭）、辻政博先生（前東京都図画工作研究会会長）は、長年子どもの造形に携わり日本の図工教育を牽引してこられたベテラン先生です。ワイヤーアートを楽しもう！ 参加した子ども達は、素材と遊ぶ楽しさ



### 市川市芳澤ガーデンギャラリー 学芸員 森 綾子

を満喫し、手や足を使って絵を描く自由を体験しました。9月から始めた「市川こどもアートクラブ」は、低学年と高学年の2クラスに分かれて活動する子どもの造形講座ですが、初回の活動は、畳ほどもあるダンボールに自分を描くというダイナミックなものでした。



土の絵の具で原始美術体験



こどもアートクラブ

### 〈大人の講座〉



アートコラージュに挑戦！

11月には財団のサポーターさんを対象にしたステップアップ講座を開催。前述の内野先生に「アートで育てる子ども達」と題して美術教育の大切さや子どもアートの魅力を語っていただきました。後半の実技講習で

はコラージュ制作に挑戦し、ワイワイと楽しみながらたくさんの素敵な作品が生まれました。

このような活動に派手さはありませんが、地道に継続してゆくことが大切だと考えています。ギャラリーや文化会館で様々な体験をした子ども達が大きくなった時、鑑賞者としてギャラリーを訪れたり、サポーターとして支えてくれたりする存在になったら…と思うと、とても楽しみです。芳澤ガーデンギャラリーと木内ギャラリーは小さな施設ではありますが、市民とアートをつなぐ大きな架け橋になるという夢を持って、これからも様々な試みに挑戦していきます。